

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社ケアシステムズ

② 施設・事業所情報

名称：にじいろ保育園 犬蔵	種別：認可保育園
代表者氏名：野呂 美紀	定員（利用人数）： 75名
所在地：〒216-0011 川崎市宮前区犬蔵2-24-10	
TEL：044-982-3144	ホームページ： https://www.like-kd.co.jp/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2015年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：ライクキッズ株式会社	
職員数	常勤職員： 15名 非常勤職員 5名
専門職員	（専門職の名称） 名
施設・設備 の概要	（居室数） 10室 （設備等）

③ 理念・基本方針

- ・こども理念 「のびやかに育て だいちの芽」
- ・保育方針 みとめ愛 みつめ愛 ひびき愛 信頼 安定 共感
- ・陽だまりのような保育園
- ・地域と共に育つ保育園
- ・こどもと共に輝いていける保育園

④ 施設・事業所の特徴的な取組

保育理念に基づき陽だまりのような環境作りを目指しています。子どもたちはもちろん保護者の方々、日々大半を共に過ごす職員、皆さんにとって家のような温かい環境であり絆を築きながら保育園の存在価値を大切にしています。

職員一人ひとりがのびのびと自信を持って保育に従事できる良い職場作りと、保育士としてまた社会人として日々成長できるような仕事の仕組みを作り、役割を明確にしています。

行事や日々の保育が子どもたちと共に喜び楽しみを感じながら過ごしお互いに学ぶ姿勢を大切に過ごしています。その成果もあり保護者とのコミュニケーションもうまく図れるようになり今のところはトラブルもありません。職員も気持ちに余裕をもって明るく前向きに保育し自信につながっています。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年 6月 7日（契約日） ～ 2023年 11月 30日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（令和2年度）

⑥ 総評

◇特長や今後期待される点

特長

職員の就業状況や意向を把握し働きやすい職場づくりに取り組んでいる

園長は職員の夫々の特性や個性を尊重しつつ、充分にその能力が発揮できるよう見守り、コミュニケーションをとるように取り組んでいる。キャリアパスを提示し、職員一人ひとりにつき人材育成計画および研修計画を策定しており、研修報告書の提出を義務付け、情報共有しつつチーム力・組織力が向上するよう努めている。また、職場環境や職員の健康管理・ストレスチェック・ハラスメント防止などに努め、職員の就業状況を把握し、さらに定期・不定期に個別面談やアンケートなどを実施し、職員の意識状況を把握して職員の意欲や働き甲斐の向上に取り組んでいる。

保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者などに周知している

保護者懇談会、個人面談、保育参加などを通じて園の取り組みに関する理解を深めてもらいながら、コミュニケーションを図ることに力を入れている。懇談会では話しやすい雰囲気を作るとともに、交流のきっかけを作っている。職員写真を貼って顔を覚えてもらうなどにも配慮している。また、連絡帳だけでなく、登降園時に気軽に話せるようこちらからも話しかけたり、子育ての悩みなどに応えられるようにしている。さらに、トイレトレーニングなどは家庭と協力体制を図りながら進められるようにしている。歩行がまだの子に這って遊べる遊びを取り入れ、体幹の発育を促すよう支援している。

絵本を通して感性豊かな子どもが育つように取り組んでいる

今までにあった委員会活動の中に「おはなし会」を増やし、絵本の読み聞かせ講習を受けた保育士が、他の保育士に読み聞かせのスキルを伝える一方で、定期的に大型絵本や季節に合わせた絵本の読み聞かせを実施している。日常生活の中でも、読み聞かせを行う機会を意識的に作る、絵本コーナーを設置し、子どもが好きな絵本を手にして読むことができるようにするなど、子どもが絵本に触れる機会をたくさん作っている。職員は、子どもたちが、さまざまな言葉に触れ、語彙力を伸ばしたり、感情が豊かになったり、想像力が豊かになったりする絵本の及ぼす影響力を共通理解し、一緒に楽しみながら読み聞かせに取り組んでいる。

今後期待される点

子どもと地域との交流を広げるための取り組みを充実させることを目指している

園長は地域の園長連携会議などに参加して地域情報を収集し、地域ネットワークにおいて協働できる体制作りに取り組んでいる。地域の各保育園の年長児担当が順番に交流計画書を作成し、年長児は公園でリレーやゲームなどを行って、近隣保育園との交流を図るなどの機会につなげている。ただし、老人ホームとの交流は感染防止から中止を余儀なくされており、子どもからの手紙や制作物のプレゼントによつての交流にとどまっている。概ね新型コロナウイルスも収束したことを踏まえ、小学校との交流の再開などをはじめ、地域の社会資源を園児に還元する取り組みを充実させることを目指している。

職員ひとり一人の育成に向けた取り組みを充実させることを目指している

法人共通の成長支援シートをもとに職員一人ひとりと面談を実施し「目標達成度」を把握する仕組みを設けている。園長はキャリアパス研修や専門部門研修など、個々の知識や技術が必要とされる研修受講の成果の整合性を図り、次の研修計画に反映させることにしている。受講した研修は法人共通の「研修報告書」に記述して全職員に回覧したり、定期的に職員会議などで研修報告会を実施して「知識の共有化」を図っている。さらに、個人面談などで把握した育成状況などを参考に、職員から組織体制や園内の課題を抽出し「園内研修」を充実させるなど、職員一人ひとりの育成に向けた

取り組みを充実させることを目指している。

継続的な職員の保育力の向上を期待する

保育の質の向上に向けた取り組みとして、数名の職員で構成された委員会を設立し、話し合いを通して責任と自覚を持ち、自信を持って保育に取り組めるように体制を整えている。園長・主任は、相談しやすい環境を作り、職員間で信頼関係が築けるように配慮している。職員は「日々向上」を合言葉に保育実践を行う中で、保育内容の改善や必要な知識・技術の習得を図っている。

今年度は新卒4名の入職やベテラン職員の異動もあり、標準的な保育の実施方法の定着、さらには犬蔵保育園独自の特色ある保育を実践し、保育の質の向上に向けた課題に組織的に取り組んでいくことが求められる。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

様々な保育園を見ていらっしゃる専門家としての意見やアドバイスを頂き新たな課題が明確になりとても良かったです。また、保護者アンケートでは切実な声が聞くことができ保育士としてのモチベーションに繋がった点や即、改善すべき点など実践へと繋がられるよう目標が出来ました。第三者評価のイメージがとても緊張したものでしたが、受審することにより、よりよい保育、質の高い保育へと意識が高まり実り多き時間となりました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり